学生が国内外から集い、ともに学び、世界に羽ばたく大学に

「学びたい」をあらゆる面からサポート、グローバル人材を育成・輩出

統合型複合科目―「目からウロコ」の体験から研究探求意識へ

京都大学では、2025年度より学部新入生を主な対象とした「統合型複合科目」を開講しています。社会の複合的な課題をテーマに、様々な部局の最先端研究者が登壇する講義と少人数演習（週2コマ）を組み合わせ、2026年度は英語で実施する2クラスを含む計15クラスを開講しています。

文理の垣根を越えた学びや学生同士の協働学習を通じて、自ら問いを立て、調べ、議論する実践的なアカデミックスキルを習得。正解のない課題に向き合う研究探求意識を涵養し、大学での深い学びへの転換を図ります。

世界に伍する研究大学である本学ならではの授業を通じ、多面的な視点を得る「目からウロコ」の経験と、大学で学ぶ真の魅力を発見していきます。





優秀な留学生の積極的な獲得と多様化の促進　https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/

Kyoto iUP（Kyoto University International Undergraduate Program）

京都大学では、入学段階での日本語能力を一切問わず、入学決定後に徹底した日本語教育を継続的に実施し、専門教育段階から日本語で講義等を行うことで、日本語で学部卒業レベル（あるいは修士課程や博士後期課程修了レベル）の専門知識を獲得した留学生を育成しています。この取組によって、単に言葉の壁を取り除き、世界中からトップレベルの留学生を学部段階から受け入れるだけではなく、企業や大学における先端的研究・開発が英語以外の言語で行われるという世界的にも稀な我が国の特性に対応し、グローバル展開を図る日本企業および日本経済そのものを牽引できる、きわめて高度な外国人留学生の輩出と日本社会への定着に貢献することを目指しており、さらに拡大していきます。2025年度には795名の出願者（62の国・地域）から34名（9の国・地域）を予備教育履修生として受け入れ、Kyoto iUP 生の総数（卒業生含む）は、152名（22の国・地域）となりました（2025年度末現在）。







教育・学修における生成AI利用に関するガイドライン等の制定・公表

本学では、2026年3月より在学生向けに学生用Google Workspaceの生成AIサービスの提供を開始しました。これに先立ち、本学における教育・学修でのAI利用に関する基本的な考え方や取り組むべき事項、行動計画等をまとめた「京都大学の教育・学修におけるAIイニシアティブ」と、現時点で教職員と学生が共通理解を図るべき生成AI利用のメリット・リスク・対応策を示した「京都大学の教育・学修における生成AI利用に関するガイドライン」を制定・公表しました。また、2026年度から新しい全学共通科目として「情報AI基礎」「情報AI基礎演習」等を開講しました。

これらの取組により、教職員と学生の共通認識の下、学生一人ひとりが生成AIの特性や倫理的課題を正しく理解し、主体的に学びに活かす能力（AIリテラシー）の育成に寄与することを目指しています。

インド・オーストラリアから短期インターンシップ生を受け入れ

―新たな地域から優秀な大学院留学生のリクルーティング―

Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program

大学院教育支援機構では、大学院留学生の増加を目指して短期インターンシップ「Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program」を実施しています。2025年5月～7月にはインドから、2026年1月～2月にはオーストラリアから、優秀な学生を受け入れました。選ばれた学生は、プログラム期間中、自身が選択した研究室で研究スキルを磨き、日本語授業や日本文化体験等に参加するなどしました。将来の本学大学院への進学、日本及び世界の産学界を牽引するグローバル人材の育成に繋げます。





社会の要請に応じた多様な大学院生・社会人向けプログラムを展開

1. 大学院教育支援機構 教育コース

多様化する社会ニーズに応える人材を育成するため、2025年度は8コース(「産学協同教育コース」「教育能力向上コース」「グローバル生存学コース」「デザイン学コース」「数学･数理科学イノベーション人材育成強化コース」「サステナビリティ総合知コース」「ウェルビーイング総合知コース」「フロンティア開発総合知コース」)を開講し、298名が登録しました。大学院共通科目群・大学院横断教育科目群を活用することで、大学院生が専門領域を超えて様々な分野で活躍するための知識や技能を提供しています。






2. 京都大学のリカレント教育『社会人の挑戦を支える知と実践のプラットフォーム』

現代社会では、急速な技術革新や社会構造の変化に伴い、学び直しや新たなスキルの習得に対する社会人の関心が高まっています。京都大学は、こうしたニーズに応えるべく、多岐にわたる教育プログラムを展開し、社会人が専門知識を深め、実践的スキルを向上させる機会を提供しています。





世界を舞台に研究を深め、新たな知見を探求する機会を提供

大学院教育支援機構(DoGS)海外渡航助成金

大学院教育支援機構では、大学院教育のグローバル展開を強化するため、大学院生によるフィールド調査、国際学会での研究発表、海外での共同研究や研究指導など、さまざまな目的による海外渡航を幅広く支援しています。2025年度は、579件の応募のうち84件を採択しました。また、DMG森精機株式会社からの支援による特別枠を設け、78件の応募のうち5件を採択しました。